

令和4年度 部局経営方針

	部局名	商工観光部	部局長名	長友 正博	
部局の経営資源	職員数 (人)		当初予算額 (千円)		令和4年度中に策定予定の計画 (根拠法令等)
	正職員	20	一般会計	987,571	
	再任用職員		特別会計	0	
			前年度繰越額(千円)		
	会計年度任用職員	1	一般会計	405,204	
	任期付職員		特別会計	0	
<p>【基本姿勢】 商工観光部は、第2次日向市総合計画・後期基本計画に掲げる「人権尊重」「市民協働」「地域力活用」の基本理念に基づき、市民や企業を尊重しながら協働と役割分担による連携を深め、「海・山・人がつながり 笑顔で暮らせる 元気なまち」の実現を目指します。</p> <p>【総合計画・基本理念】 商工観光部は、第2次日向市総合計画・後期基本計画に掲げる本市の目指すべき将来像である「新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち」を実現するため、企業誘致や地場産業の振興による地域経済の活性化や雇用の促進、地域資源の磨き上げや情報発信による交流人口の増加・賑わいの創出など、商工・観光分野での各種施策に取り組みを推進します。</p> <p>【総合計画・基本目標】 総合計画に掲げる以下の基本目標の実現に向け、それぞれの施策を展開します。 (1)産業振興:「新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち」</p> <p>3-4 商工業の振興</p> <p>①活力ある商業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国や県、支援機関等と連携し、商業を担う人材の育成、確保に取り組みます。 ○ 商工会議所や商工会、日向市産業支援センター等による中小企業等への経営支援や相談体制の充実を図ります。 ○ 創業や新分野への進出を促進するために、事業に必要な知識や技能を習得する研修会の開催等を支援します。 ○ 地場産品事業者の振興のため、物産展の開催や新商品開発、販路拡大に向けた支援を図ります。 <p>②高度な技術力を生かした工業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日向ひとものづくりセンターなどと連携し、ものづくり技術の向上や若手技術者の育成、第2次産業の雇用の確保等に取り組みます。 ○ 工業の振興に貢献している優秀な技能者を顕彰し、ものづくり産業の技術や技能の継承に努めます。 					
総合計画に基づく部局の経営戦略					

3-5 雇用の確保と創出

①就業の場の確保と雇用の創出

- 関係機関と連携し、起業者の育成や継続的な支援に取り組みます。
- 多様な人材が働ける場所を確保するため、関係機関との連携を強化し、企業への啓発活動や相談支援体制の充実を図ります。
- 雇用機会の創出を図るため、セミナーや就職説明会を開催するなど、移住(UIJターン)を促進し、就業人口の拡充に努めます。

②産業人材の育成

- キャリア教育支援センターや学校と連携し子どもの職業観の醸成や、地元企業への理解を深めます。
- 優秀な技能や技術を持った技術者を顕彰し技術・技能の伝承に努めます。

③労働者福祉の向上

- 労働者が働き続けられる環境をつくるために、企業の福利厚生や雇用環境の整備を支援します。
- 労働環境の向上を目指し、知識の普及や啓発活動を推進します。

3-6 企業誘致と次世代産業の育成

①企業誘致の推進

- 企業が必要とする人材を供給していくために、都市部からのUIJターンを促進するとともに、質の高い人材を育成します。
- 企業ニーズに対応した支援策を通じた多様な企業の誘致を進めるほか、誘致のための新たな工業用地の確保に努めます。

②新たな産業の育成支援

- 延岡市・門川町と連携し、医療・ヘルスケア関連産業等の誘致や地場産業の成長産業への参入支援等に取り組みます。

3-7 地域を活性化する観光の振興

①受入体制の整備とおもてなしの充実

- ポストコロナの旅行需要の回復を見据え、交流人口拡大のための日向ファン拡大推進事業の継続や、既存の地域資源を活用した体験型観光コンテンツの造成等に取り組みます。
- 本市の観光宿泊施設にフリーWi-Fiを整備するなど、観光施設の魅力創出に努めます。
- 今後のインバウンド需要の高まりを見据えた案内標識の多言語化や、誰もが安心できる楽しめる環境づくりに努めるほか、施設の長寿命化対策の促進や適切な維持管理に努めます。
- 近隣市町村と連携し、ウィズコロナ期に対応した域内誘客に取り組みます。

②観光消費拡大の仕掛けづくり

- 市内観光産業の回復を図るため、市内宿泊キャンペーンを展開し、観光消費の拡大に取り組みます。
- 観光客の滞在時間の延長や宿泊に繋がる新たな観光コンテンツを開発することで観光客の誘客と観光消費額の拡大に取り組みます。
- 旅行者に対する消費機会の拡大や旅行者の消費単価の向上を目指し、観光DX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組みます。
- 観光施設の機能を強化し、さらなる観光誘客や収益の向上に取り組みます。
- 旅の楽しみの一つである食や、地元特産品を活用したお土産品を、多様なメディアを活用し広くPRします。

③効果的な情報発信とプロモーション

- 本市の認知度向上と来訪のきっかけづくりを図るため、ターゲットを明確にし、魅力的な観光情報を、効果的・継続的に発信する取り組みを進めます。
- ICT、VR、DX等を活用した、観光情報の発信などに取り組みます。

④観光産業を担う組織や人材育成・強化

- 体験型観光コンテンツ提供事業者等と連携を深め、「新しい生活様式」に対応した新たな体験型観光メニューを造成し、まずは受入体制の確立に取り組みます。
- コロナ禍で2カ年連続で中止となった日向三大祭り等の観光イベントを、安全に安心して開催できるよう、実行委員会等の組織強化や感染予防対策等の情報を提供するなどの支援を行います。

⑤ 地域資源を活用したスポーツ交流の拡大

- 「ヒュー！日向」ホームページをはじめとした情報発信を積極的に行い、「リラックス・サーフタウン日向」の推進を図ります。
- ビーチスポーツイベント等の開催により、豊かなビーチ環境を生かした活用方法を提案し、にぎわいのある海岸づくりに取り組みます。
- 国内有数のサーフィン環境を活用し、国内外の大会等の誘致に取り組みます。
- お倉ヶ浜海水浴場駐車場の有料化に取り組みます。
- プロ野球やJリーグ、社会人、大学生などによるスポーツキャンプの誘致等に取り組み、「スポーツタウン日向」の推進を図ります。
- スポーツキャンプ等を実施する団体が安全・安心にトレーニングが行えるよう快適な環境づくりに取り組みます。

(2)社会基盤:「快適で魅力ある機能的な住みやすいまち」

5-5 港湾機能の充実と活用

①港湾の整備

- 「細島港港湾計画」の着実な実行に向けて、関係者や地元と連携し、国や県に働きかけます。
- ブルーカーボンなどの自然保全活動やみなのオアシスでのイベント等を通じ、賑わいと活気生まれる港を目指します。

②物流体制とポートセールスの強化

- 県外へ流出している貨物や他県からの貨物を細島港に定着させるため、物流体制とポートセールスの強化、貨物集荷に対する支援等を推進します。

【行財政改革大綱に基づく行動計画】

○第三セクターの経営健全化

(株)日向サンパーク温泉による経営継続断念により休館中である「温泉館」の施設譲渡による民設民営による再開を目指すとともに、大型遊具等の施設整備による来場者増による経営の健全化を図ります。

(株)東郷町ふるさと公社が指定管理を行う「牧水公園ふるさとの家」他施設について、老朽化した施設の改修を行い、貸付けを行った食事処「牧水庵」の動向を注視するとともに、牧水公園の利用者の増加につなげ、今後の公社のあり方を含め、経営の健全化を図ります。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
1	1 未 来へつな げる人づ くり	2 安 心し産 み育て るみな なで子 育てプ ロジェ クト	5 女 性の活 躍推進	-	3 女性の再就 職に向けた支 援を行います。 す。	商工 港湾課	市内女性の結婚・ 出産期にあたる世 代の就業率が低い ことから、育児等 が落ち着き再就職 を目指す女性の就 職活動に対する支 援が必要です。	日向市地 域雇用創 造協議会 に要する 経費	出産や子育て等で再就職 を目指している女性を対象 にした就職説明会及び再就 職応援セミナーを開催しま す。	【通年】 日向市地域雇用創造協議会が開催する就職 説明会や再就職応援セミナーを支援します。	就職説明 会及び再 就職応援 セミナー の女性参 加者数	50	人	
2	2 活 力を生 み出す にぎわ いづく り	1 活 力を生 み出す 「とく び」リ プロ ジェ クト	1 若 者や女 性が活 躍でき る企業 誘致の 推進	新規企業の立 地及び既存企 業の増設等の 件数(累計)	1 国内主要都 市での企業立 地セミナーを 開催します。	商工 港湾課	例年、首都圏等 で開催される企業立 地セミナーに参加 し、企業誘致や販路 拡大支援等に取り 組んでいますが、令 和2年度以降は新 型コロナの影響もあ り、リモートによるセ ミナー参加のみの 対応となっています。	企業誘致 推進事業	都市圏での展示会等を活 用した企業誘致等や、アフ ターコロナに向けての新たな 働き方にも対応する企業誘 致に取り組みます。	【通年】 新型コロナウイルスの状況を見ながら、都市圏 での企業立地セミナーに参加するとともに、状況 に応じて、リモートによるセミナー参加も行いま す。	企業立地 セミナー への参加 回数	3	回	
3	3			【R6】 20件	2 県外企業な どの本社機能 移転や地元企 業の本社機能 拡充などを促 進します。	商工 港湾課	市外に本社を置く 誘致企業等への本 社機能移転の提案 についても検討して いますが、本社機能 移転を提案できる企 業が少ないため、地 元企業の拡充等を 重点的に支援して います。		地元企業の本社機能の拡 充に取り組むとともに、コロ ナ禍により地方への移転を 検討する企業等の掘り起こ しを行い、対象企業へ本社 機能移転を提案していきま す。	【通年】 地元企業の本社機能の拡充に向けた企業か らのヒアリングを積極的に進めるとともに、コロ ナ禍により地方への移転を検討する企業の情 報収集に努めます。	企業訪問 等の企業 への接触	100	社	

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標			
												指標の説明	目標値	単位	
4	2 活力を生み出すにぎわいづくり	1 活力を生み出す「ごと」づくりプロジェクト	1 若者や女性が活躍できる企業誘致の推進	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数(累計) 【R6】 20件	3 細島4区工業団地の市有地について、企業立地や地場企業の事業拡大に向けた情報発信に取り組めます。	商工港湾課	H30年度末に購入した細島4区工業団地用地が令和2年度に完売しており、コロナ禍においても多くの問い合わせがある細島工業団地への企業誘致が、民有地へのマッチングのみの対応となっています。	企業誘致推進事業	企業訪問や企業立地セミナーへの参加等により、最新の企業ニーズの把握に努めるとともに、都市部からのUIJターンの促進や優良な人材の育成を通じ、新たな企業の誘致や地元企業の発展・成長を推進します。	【通年】 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、企業訪問やヒアリング等を通じ、細島工業団地内の民有地等への企業誘致のマッチング及び地場企業の事業拡大に取り組みます。また、課題となっている工業用地の掘り起こしを進めていきます。		企業立地セミナーへの参加回数	3	回	
4 IT事業者などを対象に、空き店舗・空き家を活用した企業誘致に取り組めます。					商工港湾課	若者や女性から求職ニーズが高いIT関連企業を誘致するために適した物件が少ない状況です。	IT技術者の育成や、高度な技術を持ったUIJターン者の確保に向け、IT事業者が進出可能な物件情報の収集のための関係機関との情報交換の場を創出します。また、IT企業の誘致と連動した人材の確保に向けた取り組みを進めます。		・不動産事業者等との意見交換の場の創出 ・IT企業の誘致と連動した人材の確保に向けた取り組み ・UIJターン者の確保に向けた移住説明会等への参加						・不動産事業者等との意見交換、物件情報の収集 ・IT企業の誘致と連動した人材の確保に向けた取り組み ・UIJターン者の確保に向けた移住説明会等への参加
5 IT関連技術者の育成及び県外からのIT関連従事者の移住(UIJターン)を促進します。					商工港湾課	サテライトオフィスの設置が想定されるIT事業者の企業誘致についても、コロナ禍により在宅勤務のみの形態を取る企業も増えており、対策を講じる必要があります。									

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
7		2 強みを活かした「稼げる」産業振興プロジェクト	2 強みを生かした新たな産業の拡大	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数(累計) 【R6】 20件	2 電池産業に対する事業拡大を支援します。	商工港湾課	近年の米中貿易摩擦の影響を受け、自動車関連産業である電池産業にも影響が出ている状況です。一方で、国内での防災意識の高まりに伴い、乾電池などの製品については、好調な動きを見せています。	企業誘致推進事業	工場の新設や増設等に対して、企業立地促進条例に基づく支援を行います。	【通年】 対象企業へのヒアリング等を通じ、地場企業の事業拡大を支援します。	企業訪問等の企業への接触	100	社	
8	2 活力を生み出すにぎわいづくり	1 活力を生み出す「とづくり」プロジェクト	2 中小企業、小規模事業者への支援	-	1 「日向市産業支援センター」を運営し、中小企業の抱える様々な悩みや相談・課題解決策の提案を行います。	商工港湾課	市内商工業者数が減少する中、商工業者の経営安定、新規起業、事業承継等の推進を図るため、コーディネーターを配置し積極的に相談・支援業務を行う必要があります。	ひむかーBiz運営事業	「日向市産業支援センター」を運営し、販路拡大や新たな分野への進出、若者や女性の起業を後押しするため、細やかな経営相談とフォローアップを行います。 また、同センターの支援内容及び成果等を広く周知・啓発し、市内企業等の利用促進を図ります。	【通年】 ・定例報告会等連携会議の開催 ・専任のコーディネーターが行う事業者や起業希望者等への経営相談等を関係団体や金融機関と連携し、支援していきます。 ・メディアへの情報提供を積極的に行うとともに、市報等を活用し、市民及び事業者に対し、同センターの成果等を広く周知していきます。	相談件数	480	件	
9				-	2 事業計画、商品開発、資金調達、販路開拓に至る支援や起業に関する相談・支援を行います。	商工港湾課	市内商工業者数が減少する中、商工業者の販路拡大や新分野への進出、新規起業・事業承継を後押しするため、相談・支援業務を強化する必要があります。	ひむかーBiz運営事業	日向地区中小企業支援機構、日向市産業支援センター、日向商工会議所、東郷町商工会、日本政策金融公庫等関係機関との連携を強化し、商工業者及び起業希望者等の支援を行います。 全国BizネットワークやITアドバイザーを活用し、デジタル化の推進等幅広い事業者の悩みに対応できるよう支援体制を強化します。	【通年】 ・定例的に創業支援・事業承継連携会議を開催します。 ・ITアドバイザー、その他支援機関と連携した相談会を開催します。	市内で創業した件数	10	件	

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
10	2 活力を生み出すにぎわいづくり	1 活力を生み出す「とづくりプロジェクト」	3 産業人材の確保と誰もが働けるしごと環境の充実	新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数(累計) 【R6】200人	1 人材育成セミナーや雇用拡大セミナーなどを実施します。	商工港湾課	就業率が低下する中、雇用の確保・創出を図るため、人材育成セミナーや雇用拡大セミナー等を積極的に行う日向市地域雇用創造協議会の運営を支援する必要があります。	日向市地域雇用創造協議会に要する経費	日向市地域雇用創造協議会が行う事業者及び求職者を対象としたセミナー及び就職説明会、UIJターン希望者を対象とした相談会等の開催を支援します。	・日向市地域雇用創造協議会を開催 ・日向市地域雇用創造協議会の運営支援	・日向市地域雇用創造協議会の運営支援	日向市地域雇用創造協議会が主催したセミナーの参加者数	115	人
11					3 地域ナレッジ情報サイトを活用した求人など総合的な情報発信を行います。	商工港湾課	就業率が低下する中、就業機会の拡大や移住・定住の促進を図るため、就職に関する総合的な情報提供を行う必要があります。	就業支援に要する経費	就職情報サイト「ひゅうがJOBナビ」を運営し、就職・転職を促進する様々な情報を求職者やUIJターン希望者に提供します。 また、令和4年度に製作予定の市内企業のPR動画を掲載し、若者や女性の地元就職を促進します。	【通年】 ・市報、ホームページ等に「ひゅうがJOBナビ」のリニューアル情報を掲載します。 ・「ひゅうがJOBナビ」に最新の求人情報、企業情報、各種セミナーの案内情報等を掲載します。 ・企業のPR動画を掲載し、就職説明会やUIJターン相談会等で活用します。	「ひゅうがJOBナビ」の企業情報掲載数	70	者	
12					4 高校生・大学生、都市部の地元出身者などを対象とした就職説明会を開催します。	商工港湾課	地元高校生の市内就職率が低い等若者の人口流出が危惧される中、次世代を担う人材の育成・確保に努める必要があります。	就業支援に要する経費	若者の流出を抑制するため、高校生を対象とした就職準備セミナー等を開催します。 管内高校や関係団体等が連携して実施する日向エリア内高校企業説明会の開催を支援します。 管内の高校と連携し、市内企業、ハローワーク日向、関係機関等の連携会議を開催します。	日向入郷管内の高校生を対象とした日向エリア内高校企業説明会の開催を支援します。	・高校生の地元定着を促進するため、管内高校、関係機関等との連携会議を開催します。 ・地元企業を講師とした高校生就職準備セミナーを開催します。	高校生就職準備セミナーの回数	1	回

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
13	2 活力を生み出すにぎわいづくり	1 活力を生み出す「しごとづくり」プロジェクト	4 ワーク・ライフ・バランスの推進	-	1 ワーク・ライフ・バランスについて理解促進を図るために、商工会議所など関係機関と連携し、周知拡大に取り組みます。	商工港湾課	雇用の確保・創出を図るため、誰もが活躍できる仕事づくりを目指し、ワーク・ライフ・バランスの推進等働く環境の整備・充実に努める必要があります。	商工業振興事業	労働者が長く働き続けられる環境づくりを目指し、退職金共済等の加入を促進する等、企業の労働環境の改善を支援します。	・商工会議所等と連携し、企業等を対象に退職金共済制度の説明、市報や会報を活用した周知・啓発を行い、加入促進を図ります。	・従業員の退職金共済制度への新規加入を行った企業に対し補助金を交付します。	退職金共済制度の新規加入者数	200	人
14				-	2 ワーク・ライフ・バランスなどに取り組む優良企業を認定し、社員が生き生きと働くことができる環境づくりを促進します。	商工港湾課	雇用の確保・創出を図るため、企業が行うワーク・ライフ・バランスの取組みを推進し、多様な人材が活躍できる社会づくりを目指します。	商工業振興事業	「社員が輝く！先進企業」の認定制度を見直すなど、社員が生き生きと働くことができる環境づくりに取り組みます。	・商工会議所等と連携し、「社員が輝く！先進企業」の認定制度の見直しを検討します。 ・認定制度やワーク・ライフ・バランスの啓発に関する記事等を市報、会報等に掲載します。	・「社員が輝く！先進企業」の認定式を開催します。 ・市報等を活用し、認定企業の取組みを周知します。	「社員が輝く！先進企業」の認定件数	1	社
15	2 強みを活かした「稼げる」産業振興プロジェクト	1 細島港の機能強化と物流の促進	コンテナ貨物取扱量(空コンテナを除く。)(年間) 【R1】 21,411TEU ↓ 【R6】 23,000TEU	1 ポートセールスや貨物集荷奨励事業、荷役効率の向上などにより競争力の強化を図ります。	商工港湾課	奨励補助について、他港との競争力で劣ることの無い補助の在り方を検討する必要があります。	物流等対策事業	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、県内外の企業訪問を行い、新規貨物の取り込みのため、県とも連携してポートセールス活動を行うとともに、コンテナ補助等のインセンティブについても、他港の情報収集を行いながら、適宜見直しを行います。	・貨物集荷奨励補助金の周知、交付	・都内での県港湾セミナーへの参加 ・貨物集荷奨励補助金の交付 ・船舶給水料金負担金の支出	港湾利用者への接触	50	社	

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
16	2 活力を生み出すにぎわいづくり	2 強みを活かした「稼げる産振プロジェクト」	1 細島の機能強化と物流促進	コンテナ貨物取扱量(空コンテナを除く。)(年間) 【R1】 21,411TEU ↓ 【R6】 23,000TEU	2 RORO船の貨物集荷、増便を促進します。	商工港湾課	市内企業の大型RORO船就航により、貨物量の増加が期待されましたが、コロナ禍により増加のスピードが鈍化しています。また、増便に対応する岸壁が受け入れ先である大阪府・大阪市ともに不足しているため、引き続き調整や支援が必要となります。	物流等対策事業	横須賀市や大阪府、大阪市などと連携を図り、定期航路の維持や新規航路の実現に向けた協議・検討を行います。 港運事業者や関連団体と連携し、インセンティブの充実を図ることで、物流の効率化やモーダルシフトを推進します。	・貨物集荷奨励補助金の周知、交付	・関東・関西圏でのセミナー等への参加 ・貨物集荷奨励補助金の交付	港湾利用者への接触	50	社
17				-	3 細島臨海工業団地に隣接した岸壁の整備を促進します。	商工港湾課	RORO岸壁や18号岸壁の事業化について、関係者との調整に十分な協議と説明が必要となります。	重要港湾等整備事業	国、県はもとより、関係機関や地元との更なる連携を図るとともに、港湾協会等を活用し、細島港の整備と機能の充実を推進します。	・関係機関や地元等と連携し、国、県に対して令和5年度予算の要望活動に取り組みます。	・更なる岸壁整備の事業化や整備中岸壁の早期完成に向け、更なる要望活動を行います。	国・県への要望回数	3	回
18				-	4 「みなとオアシスほそしま」を中心とした港湾のにぎわい創出に取り組めます。	商工港湾課	賑わい創出に向けた事業計画を策定したものの、コロナ禍により令和2年度に事業が行えないなど、事業の遅れが見られます。 また、令和2年度に九州の関係自治体による組織が結成されましたが、事業自体は行っていない状況です。	みなとオアシス推進事業	みなとオアシスほそしま協議会を中心に、県や地元団体、企業等と連携して、「細島港商業港地区の活性化に向けた将来構想」に基づく取組を推進します。 また、「みなとオアシス」九州ブロック協議会に参加し、地域間連携に取り組めます。	・事業計画の策定 ・賑わい創出事業の実施 ・全国組織総会への出席	・賑わい創出事業の実施 ・九州ブロック協議会への出席	みなとオアシスほそしま協議会会議等への出席回数	5	回

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
19	2 活力を生み出すにぎわいづくり	2 強みを活かした「稼げる」産業振興プロジェクト	2 強みを活かした新たな産業の拡大	-	1 東九州メディカルバレー構想に基づき、地元企業の医療機器産業への新規参入を支援します。	商工港湾課	医療関連ビジネスは、製品開発や品質管理などにおいて新規参入のハードルが高く、難しい面があります。	企業誘致推進事業	東九州メディカルバレー構想に基づき、県や他市町村と連携して、医療関連ビジネスへの参入を目指す地元企業への継続的な支援に取り組んでいきます。	・宮崎県北部医療関連産業振興等協議会の事業計画の承認 ・県補助金の活用に向けた地元企業への意向調査	・県補助金活用の地元企業へのフォローアップ	企業訪問等の企業への接触	100	社
20				-	3 再生可能エネルギー関連企業の立地に向けた研究開発や事業に対する支援を行います。	商工港湾課	マグネシウム循環社会構想推進協議会は、意見交換のみで進展があまり見られませんが、関連企業との接触機会としては貴重なものとなっています。	企業誘致推進事業	マグネシウム循環社会構想推進協議会に参加し、情報収集や意見交換を行います。また、再生可能エネルギー関連企業の立地に向けた支援や各種調整を行っていきます。	【通年】 Mg循環社会構想推進協議会を通じた情報収集及び細島工業団地内の民有地等への企業誘致のマッチングに取り組みます。	再生可能エネルギー関連会議等への参加回数	1	回	
21				-	1 食の魅力や特色あるお土産品など、様々なメディアを活用し、国内外へ向けた情報発信に取り組めます。	観光交流課	これまで長年、日頃の食の魅力の開発などに取り組んできたりましたが、市域への観光誘客を牽引するグルメの開発するに至っていません。	観光客誘致推進事業	旅行先選定の大きな要素であるその土地ならではのグルメやお土産品などを、観光情報とともに広く情報発信し、市外からの誘客につなげていきます。	・日向ファン拡大推進事業の継続 ・SNS等を活用しへべすや細島岩かきなど、本市の食の魅力の発信	・日向ファン拡大推進事業の継続 ・SNS等を活用し食の魅力を発信	-	-	-
22	-	2 市外の観光イベントなどへ参加し、販売促進に取り組めます。	観光交流課	コロナ禍にあって、都市圏などでの往来が制限させるなか、観光物産展などの観光プロモーション事業の実施が困難となっています。	観光客誘致推進事業	隣県、九州管内編、そして全国へと、感染状況を注視しながら、ターゲットを捉えたプロモーションを展開していきます。	・グルメストリートへ参加し、県内に向けて情報発信	・福岡市でのPRイベントの参加 ・新宿KONNNEでの日向フェア開催	県内外イベント等参加件数	6	回			

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
23	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	1 地域資源を生かした観光交流の推進	観光入込客数 (年間) 【R1】 1,486,000人 ↓ 【R6】 1,532,000人	1 差別化された観光プロモーションや「新しい生活様式」に対応した観光コンテンツの造成に取り組みます。	観光交流課	インバウンド需要が激減し国内旅行も激減する中するなか、マイクロツーリズムや新しい生活様式に対応したコンテンツを造成する必要があります。	観光客誘致推進事業	ウィズ・アフターコロナ期においては、「新たな生活価値観と旅のスタイル」を提案し、収束を見据えた観光客の再誘客のための事業を展開していきます。	・日向ファン拡大プロモーション事業の展開 ・新たな観光コンテンツ造成に着手	・日向ファン拡大推進事業を推進 ・観光コンテンツ造成を支援 ・SNS等を活用した情報発信	観光入込客数 (年間)	1,389,000	人
24					2 既存観光資源や5つの観光拠点伊勢ヶ浜門前まち、細島地区、美々津地区、東郷地区、中心市街地)を生かした周遊型観光を推進します。	観光交流課	新型コロナウイルス感染症の収束時期も明らかでない状況にあるが、コロナ禍の中、ウィズ・アフター・コロナ期における観光施策の方針として、観光戦略を策定する必要があります。	観光客誘致推進事業	観光戦略の重点施策、1.観光消費額拡大に向けた新たな滞在型観光コンテンツの開発、2.観光客の誘致に向けた効果的な情報発信 3.「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」に取り組みます。	・市内宿泊キャンペーン第3弾の実施 ・滞在型観光コンテンツの造成 ・観光DX等の推進	・JSTS-D研修会の開催 ・体験型観光コンテンツの開催 ・観光DX等の推進 ・滞在型観光イベントの開催			
25					2 広域観光圏による観光ルートへの磨き上げと観光交流の拠点づくり	観光交流課	誘客の多角化や観光資源の磨き上げを通じた域内連携が推進されるなか、より効果的ですピーと感のある事業を展開するために、国や県事業等を活用する必要があります。	広域観光ルート推進事業	コロナの感染状況を見極めつつ、圏域の歴史あるお祭りや、観光イベントなどへのツアーの企画、催行を図ります。継続して、広域観光情報の発信に努めます。	・域内観光の推進 ・県域外への各種マップの配布 ・タビハクの企画 ・SNS等を活用した情報発信	・タビハクの催行 ・メディアを活用した情報発信 ・SNS等を活用した情報発信			

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
26	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	3 リラックス・サーフタウン日への推進	サーフィン等利用客数(年間) 【R1】 253,592人 ↓ 【R6】 260,000人	1 サーフィンを核とした観光プロモーションを展開し、国内有数のサーフスポットとしての認知度向上に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向の情報発信に特化したホームページの運営とSNSを活用した情報発信を継続して行っています。	サーフタウン日向推進事業	サーフタウン日向の情報発信に特化したホームページの運営をはじめ、PR動画の継続配信やリアルタイムでの波情報の提供、Instagramを活用したサーフスポット等の情報を発信していきます。	・サーフプロモーションPR動画の配信 ・ライブカメラによる波情報の提供 ・SNS等によるサーフスポットの情報発信	・サーフプロモーションPR動画の配信 ・ライブカメラによる波情報の提供 ・SNS等によるサーフスポットの情報発信	サーフィン等利用客数(年間)	237,109	人
27					2 国内外のサーフィン大会や合宿を誘致し、地域経済の活性化に取り組めます。	観光交流課	お倉ヶ浜ビーチハウス内に安全で安心なサーフスポットを提供する目的でサーモセンサーを設置しました。また、水難事故防止、新型コロナウイルス感染症対策として注意喚起アナウンスや看板等を設置しました。	サーフタウン日向推進事業	本市で開催が予定されている国際サーフィン大会や国内の大会を支援し、またPRすることにより、サーフスポットとしての認知度向上に取り組めます。	・医科歯科大学サーフィン大会の支援及びPR ・サーフスポットの安全対策、巡回等 ・国内大会のサポート及びPR ・国際サーフィン大会の支援及びPR ・サーフスポットの安全対策、巡回等	・国内サーフィン大会の支援及びPR ・サーフスポットの安全対策、巡回等	サーフィン等利用客数(年間)	237,109	人
28					3 ビーチを楽しむ環境づくりに取り組みます。	観光交流課	県内外から多くのサーファーが訪れるお倉ヶ浜では、安心してサーフスポットを提供するための検温等を実施し、市民に対しても安心して旅行者を受け入れる体制を整える必要があります	サーフタウン日向推進事業	サーフィンやビーチバレー、ビーチテニス等のスポーツ体験イベントをお倉ヶ浜海水浴場で7月に実施し、ビーチの活用を図ります。また、日本ビーチテニス連盟が主催する国内大会の実施を支援し、お倉ヶ浜海水浴場の集客、地域経済の振興を図ります。	・イベント開催のための実行委員会の設立及び開催 ・ビーチイベントの開催 ・ビーチテニスの国内大会開催の支援及びPR ・水難防止訓練への協力 ・感染拡大状況に応じた感染症防止対策の実施	・感染拡大状況に応じた感染症防止対策の実施			

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
29	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	3 リラックス・サーファウン日向の推進	サーフィン等利用客数(年間) 【R1】 253,592人	4 滞在型観光メニューの開発に取り組みます。	観光交流課	サーフィン以外の観光客を滞在させるための観光メニュー開発には至っておらず、サーファーでなくとも楽しめる体験コンテンツの造成が必要です。	-	-	-	-	-	-	-
30				↓ 【R6】 260,000人	5 お倉ヶ浜海水浴場駐車場の有料化に取り組みます。	観光交流課	お倉ヶ浜海水浴場駐車場の有料化を検討するにあたり、他自治体の状況を調査しました。有料化するためには駐車場に隣接する民有地への対応が大きな課題です。	サーファウン日向推進事業	駐車場に隣接する民有地の状況を調査し、各地権者の意向聴取や関係団体等と協議・確認しながら、有料化に向けて検討していきます。	・駐車場隣接民有地の調査及び地権者への聴取 ・関係団体との協議	・関係団体との協議	3	回	
31			4 牧水の生誕地・東郷を生かした魅力づくり	-	3 新しい生活価値観や野外キャンプの需要の高まりに合わせ、地域の魅力を広く情報発信します。	観光交流課	牧水庵の有効活用については、昨年度条例を改正し、民間への貸し出しする公募を実施しましたが、優先交渉者が辞退したことにより、再公募を余儀なくされました。再公募においても、応募者がいなかったことから、条件等の見直しを検討する必要があります。	観光客誘致推進事業	牧水公園コテージの魅力を高めるべくフリーWi-Fiを整備します。	・キャンプサイトやコテージを、近場キャンパーや家族層などに広く情報発信 ・イベントの企画、催行	・体験型観光コンテンツの企画、催行	観光消費額拡大に向けた新たな滞在型観光コンテンツの開発	10	件

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
32	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	5 重要な伝統的建造物群保存地区「美々津」を生かした魅力づくり	-	1 滞在型・体験型観光メニューの造成を支援し、広く情報発信します。	観光交流課	令和2年度をもってお舟出プロジェクトは終了しましたが、引き続き、伝建地区の魅力や、お舟出の地をアピールしていく必要があります。	観光客誘致推進事業	国の地方創生推進交付金事業を活用し、民間事業者とともに、今後、事業化または収益化が図れるようなコンテンツを造成し、モニタリングを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 協議会設立 事業の広報 コンテンツの造成 コンテンツ催行 SNS等を活用した情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の広報 コンテンツの造成 コンテンツ催行 事業の検証 	観光消費額拡大に向けた新たな滞在型観光コンテンツの開発	10	件
33			6 スポーツタウン日への推進	-	1 プロ野球やJリーグ、社会人、大学生などによるスポーツキャンプ、大会の誘致及び環境整備に取り組めます。	観光交流課	引き続き、県や関係機関等と連携しながら、プロ野球をはじめとしたスポーツキャンプの誘致を進めていくとともに、老朽化している野球場や新たなスポーツキャンプのニーズに対応する環境の整備を図る必要があります。	スポーツキャンプ活性化事業	プロや社会人等の野球チームのキャンプ受入・誘致を行うとともに、プロサッカーチームのキャンプ受入等の可能性を検討し、観光客の誘致と地域経済の活性化を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 東北楽天ゴールデンイーグルスをはじめとするスポーツキャンプ誘致に向けた活動 キャンプ受入環境整備の調査・検討 	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ実施団体等との調整 キャンプ受入時のサポート 	プロ及び社会人等チームキャンプ誘致数	3	チーム

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
34	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	8 新たな関係人口の創出	市内宿泊者数 (年間) 【R1】 172,000人 ↓ 【R6】 177,000人	1 旅行者や全国のひよっこ踊り愛好者、各種イベント参加者のほか、ふるさと納税やワーケーションなどを通して関わりを持った方が応援してくれる、再訪してもらえる関係人口の増加に取り組めます。	観光交流課	アフター・コロナ社会を見据え、本市における「新たな生活価値観と旅のスタイル」を提案するなどの総合的なプロモーションを展開することで、新たな関係人口の創出と地域経済の立て直しを図る必要があります。	観光客誘致推進事業	日向ファン拡大推進事業の継続や体験型観光コンテンツの造成により、さらなる関係人口や移住者の増加を図ります。	・事業の企画 ・プロモーションの展開	・プロモーションの展開 ・効果検証	市内宿泊者数 (年間)	161000	人
35	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	8 新たな関係人口の創出	市内宿泊者数 (年間) 【R1】 172,000人 ↓ 【R6】 177,000人	1 旅行者や全国のひよっこ踊り愛好者、各種イベント参加者のほか、ふるさと納税やワーケーションなどを通して関わりを持った方が応援してくれる、再訪してもらえる関係人口の増加に取り組めます。	商工港湾課	令和2年度からワーケーション実証実験を行い、企業による協業の打診や報道機関からの取材対応など、大きな反響があったところです。一方で、海岸部や市街地において、施設整備等に対し法規制により事業実施が制限されるなどの課題も浮き彫りとなったため、今後の対応が必要となります。	ワーケーション推進事業	ワーケーション実証実験を長期的に行い、事業のニーズ調査や将来的な商業化に向けた採算性の検討を行います。	・ワーケーション実証実験の実施	・ワーケーション実証実験の実施	市内宿泊者数 (年間)	161000	人

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
36	4 自然豊かで快適な強いまちづくり	3 自然が残る美しいまちづくりプロジェクト	4 空き家の適切な管理と活用	-	2 空き家・空き店舗を移住者向け住居やワーケーションなどに活用します。	商工港湾課	ワーケーションは、あくまでも企業誘致や移住への入口なので、活用可能な施設についても、しっかりと検討を重ねる必要があります。	[新型コロナ対策] ワーケーション推進事業	ワーケーション実証実験を長期的に行い、事業のニーズ調査や将来的な商業化に向けた採算性の検討を行います。		【通年】 移住を検討するワーケーション参加者については空き家情報を提供し、移住検討に向けた足掛かりとします。また、空き店舗等を利用したワーケーションオフィス開設の支援について調査・研究します。	ワーケーション実証実験への参加者数	90	人

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	現状と課題	R4取組内容	R4上半期	R4下半期
1	3 産業振興	4 商工業の振興	① 活力ある商業の振興	商工港湾課	商工会議所等運営補助事業	市内商工業者数が減少する中、日向商工会議所及び東郷町商工会の活動を支援し、市内商工業者の経営安定、起業・事業承継の推進を図ります。	日向商工会議所及び東郷町商工会に対して運営補助金等を交付し、経営指導体制の充実・強化を支援します。 市民交流プラザの運営に対して補助金を交付し、日向商工会館の利活用促進を図ります。 日向商工会議所及び東郷町商工会が行う小規模事業者経営改善普及事業に対し、補助金を交付し、小規模事業者の経営安定を支援します。	・日向商工会議所及び東郷町商工会に対し、各種補助金を交付します。 ・日向商工会議所及び東郷町商工会と連携し、創業及び事業承継に関する支援会議を行います。 ・各種補助事業を通し、日向商工会議所及び東郷町商工会との情報交換を密にし、市内商工業者の現状・課題等の把握に努めます。	・日向商工会議所及び東郷町商工会と連携し、創業及び事業承継に関する支援会議を行います。 ・各種補助事業を通し、日向商工会議所及び東郷町商工会との情報交換を密にし、市内商工業者の現状・課題等の把握に努めます。
2				商工港湾課	ふるさと融資事業	令和元年度末に就航したRORO船の造船に際し、ふるさと融資制度を活用し、市内事業者への無償貸し付けを行ったほか、保証料に係る補助制度を創設しました。	ふるさと融資制度を活用し、新規造船を行った市内事業者の保証料について、支援を行います。(4年目)	・補助に向けた協議、連絡等	・保証料補助金の交付
3				商工港湾課	商工業振興事業	就業率が低下する中、市内商工業者の経営安定や勤労意欲の向上を図るため、関係団体等と各種事業の調整を行うとともに、表彰事業等を行います。	・商工施策を総合的かつ計画的に推進するため、中小企業振興会議を開催します。 ・優良従業員等の表彰を行います。 ・ものづくりの優れた技術の普及啓発を図るため、「技能まつり」の開催を支援します。	・中小企業振興会議を開催します。 ・優良従業員等の選定を行います。 ・技能まつりを開催する実行委員会に対し、補助金を交付します。	・中小企業振興会議を開催します。 ・優良従業員等の表彰を行います。 ・技能まつりの開催を支援し、ものづくりの優れた技術の普及啓発に努めます。
4				商工港湾課	地場産業振興事業	コロナ禍によりイベント等が中止となり、地場産品を展示即売する機会が減っていることから、地場産業振興団体の活動を支援し、展示即売会等の開催を促します。また、全国唯一のはまぐり基石の産地として、基石産業の活性化と囲碁文化の普及を図ります。	・販路拡大や事業者の活力向上を図るため、日向物産振興協会や耳川流域地場産業振興対策協議会の活動を支援します。 ・囲碁の普及及び基石産業の振興を目的に「はまぐり基石まつり」等を行う日向はまぐり基石まつり実行委員会の活動を支援します。	・日向物産振興協会及びはまぐり基石まつり実行委員会に対し補助金を交付します。 ・日向物産振興協会と連携し、地場産業の振興を図ります。 ・「はまぐり基石まつり」の開催を支援し、囲碁の普及、基石産業の活性化を図るとともに、囲碁を通じた全国の自治体との交流活動を推進します。	・日向物産振興協会と連携し、地場産業の振興を図ります。 ・「はまぐり基石まつり」の開催を支援し、囲碁の普及、基石産業の活性化を図るとともに、囲碁を通じた全国の自治体との交流活動を推進します。 ・耳川流域地場産業振興対策協議会の事務局として、展示会等を企画し、日向入郷地域の地場産業の振興を図ります。

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	現状と課題	R4取組内容	R4上半期	R4下半期
5	3 産業振興	5 雇用の確保と創出	① 就業の場の確保と雇用の創出	商工港湾課	日向市地域雇用創造協議会に要する経費	就業率が低下する中、雇用の確保・創出を図るため、国の「地域雇用活性化推進事業」を受託する日向市地域雇用創造協議会の活動を支援します。	国の地域雇用活性化推進事業に取り組む日向地域雇用創造協議会を支援し、人材育成や雇用の場の創出を図るとともに、若者や女性の定住促進に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・日向地域雇用創造協議会の事業費の貸し付け等を行います。 ・関係機関等と連携し、事業者や求職者を対象とした各種セミナーや就職説明会などのメニューに取り組む日向地域雇用創造協議会の活動を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等と連携し、事業者や求職者を対象とした各種セミナーや就職説明会などのメニューに取り組む日向地域雇用創造協議会の活動を支援します。
6		5 雇用の確保と創出	① 就業の場の確保と雇用の創出	商工港湾課	就業支援に要する経費	雇用の確保・創出を図るため、誰もが活躍できる仕事づくりを目指し、ワークライフ・バランスの推進等働く環境の整備・充実に努める必要があります。	関係団体、関係機関等と連携し、会報や就職情報サイト「ひゅうがJOBナビ」を活用し、市内企業に対し、労働環境改善やワークライフ・バランス等の推進に関する情報提供し、誰もが生き生きと働くことができる環境づくりを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体、関係機関等と連携し、各会報や就職情報サイト等を活用した啓発活動に取り組みます。 ・就職情報サイトにワークライフバランス等に取り組む市内企業の情報やPR動画を掲載します。 	

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【商工観光部】

番号	基本方針	取組項目	実施項目	部局	所管課	R4取組内容	R4上半期	R4下半期
1	市民に信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実	市政の情報発信の充実	商工観光部	全課	市ホームページや広報誌を有効に活用し、コロナ関連施策をはじめ、商工観光各般の情報発信を行います。	広報計画の策定、広報推進員の選定を行うとともに、報道機関へ積極的な情報提供を行います。	報道機関への効果的な情報発信を行うとともに、広報推進員の研修参加を推進します。
2			市民ニーズの的確な把握	商工観光部	全課	各部局において、外部団体等を通じた情報収集を行い、市民ニーズに対応した的確な情報発信を行います。	各種総会・会議等を通じて、市民ニーズの把握に努めます。	外部団体との連携や各種アンケート等を通じた市民ニーズの把握に努めます。
3		職員の育成	災害に対する職員対応能力の強化	商工観光部	全課	地域防災計画等に基づき、各種訓練への参加を通じ、対応能力の向上に努めます。	情報伝達訓練等に参加し、防災対応能力の向上に活かします。	台風災害等による公共施設や誘致企業施設の被害調査等を適切に行います。
4		市民に開かれた市役所づくり	窓口サービスの充実	商工観光部	全課	接遇マニュアル等を遵守するとともに、市民の目線に立った対応をすることで、窓口利用者の利便性の向上に取り組みます。	専門用語等を多用することなく、市民目線に立ったわかりやすい説明を行います。	引き続き、接遇マニュアルに則った対応を心がけます。
5		電子行政サービスの充実	商工観光部	全課	市ホームページ等を活用し、電子行政サービスの充実を図ります。	市のホームページを活用し、各種計画の掲載や申請様式のダウンロード化によるサービスの充実化を図ります。	年度中の進行管理を含め、ホームページの適切な運用を行います。	
6		情報公開と個人情報の保護	商工観光部	全課	情報公開制度と個人情報保護制度の適正な運用	個人情報保護条例等に基づき、個人情報の適切な対応に努めます。	情報公開制度や個人情報保護に係る研修参加を通じ、制度の適正な運用に努めます。	情報公開制度や個人情報保護に係る研修参加を通じ、制度の適正な運用に努めます。
7	効果的・効率的な行政経営の推進	計画的な行政経営の推進	事務事業の見直し	商工観光部	全課	事務事業評価に基づき、事業効果や費用対効果を総合的に判断し、統廃合を含めた事務事業の見直しを行います。	部局経営方針の策定や事務事業評価等の実施による事業の見直しを行います。	事務事業の見直しを新年度予算要求に反映することで、事業の適正化を図ります。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【商工観光部】

番号	基本方針	取組項目	実施項目	部局	所管課	R4取組内容	R4上半期	R4下半期
8	効果的・効率的な行政経営の推進	行政運営の効率化の推進	内部統制体制の整備	商工観光部	全課	日頃の定例会等を通じ、部内の課題共有をはじめとした情報共有を図ります。	部内会議等を通じた情報伝達、リスク管理等の共有を図ります。	業務における課題等を業務マニュアルに反映し、効率化を図ります。
9			民間活力の活用	商工観光部	全課	外部団体と連携し、民間活力との協働による取り組みを推進します。	協働先との年度計画の策定を行い、効率的な事業運営を行います。	引き続き、協働先との連携を図るとともに、次年度に向けた見直し等を行います。
10			ICTの活用	商工観光部	全課	ICT利活用による業務効率化の可能性について、調査研究を行います。	研修等を通じ、所管業務のICT化の可能性を検証します。	研修等を通じ、所管業務のICT化の可能性を検証します。
11			職員の働き方改革	商工観光部	全課	効率的な業務管理により、職員のワークライフバランスの向上に努めます。	人事評価期首面談等を通じ、職員の希望する多様な働き方のニーズ把握に努めます。	業務分担の見直しや職員の休暇取得推進により、ワークライフバランスの向上に努めます。
12	未来につなげる財政運営	適正な財政運営	第三セクターの経営健全化	商工観光部	観光交流課	・日向サンパークキャンプ場・体育施設PAS(気中負荷開閉器) 及び高圧ケーブル更新 ・日向サンパーク体育施設管理等改修工事	・日向サンパークキャンプ場・体育施設PAS(気中負荷開閉器) 及び高圧ケーブル更新	・日向サンパーク体育施設管理等改修工事
13			第三セクターの経営健全化	商工観光部	観光交流課	・ふるさとの家外壁改修工事(北側)の実施 ・コテージ(5棟)外壁改修工事の実施	・ふるさとの家外壁改修工事(北側)の実施	・コテージ(5棟)外壁改修工事の実施
14	未来につなげる財政運営	適正な財政運営	補助金等の見直し	商工観光部	全課	事務事業評価に基づく補助金の効果検証を行い、見直しを検討します。	客観的視点による事務事業評価を行い、補助金の見直しを検討します。	事務事業評価の結果を受け、見直しが必要な補助金については、次年度予算へと反映します。
15		自主財源の確保	使用料、手数料の見直し	商工観光部	全課	周辺市町村の事例等も参考にしながら、公平な使用料、手数料の見直しを検討します。	公平な使用料、手数料の徴収に向け、周辺市町村等の情報収集を行います。	周辺市町村の事例等も参考にしながら、公平な使用料、手数料の見直しを検討します。